

技術者のミライ研究委員会主催・青年技術士交流委員会&道南技術士委員会連携・協力 『技術士を知ろう！ in 函館高専 2023』

1. はじめに

道南技術士委員会(道南)では、地域の担い手確保、技術水準の向上、函館を中心とした道南圏で活動する技術者の育成を目的に日々取り組みを行っております。本報告では、「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」の企画に、青年技術士交流委員会(青技交)と共に連携・協力といった形で、函館工業高等専門学校での講演を実施させていただきました。

「技術士を知ろう！ in 函館高専」の企画には令和元年度から5年連続で連携・協力という形で参加させていただいており、参加者・講演者にとっては母校での発表とゆう申し分ない貴重な機会と認識しております。

2. 実施概要

開催日時：2023年(令和5年)8月4日(金)

14:45～16:15

講義内容：技術士資格の説明、概要等

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科
3年生 27名

参加者：小澤代表、仁田、千葉、中谷(ミライ研4名)。原田(記)(ミライ研兼青技交兼道南)。仁義、正田(青技交2名)。原、村本(道南2名)。櫻庭(一般協力)

例年、函館高専での講演は社会基盤工学の澤村先生(技術士/建設部門)の協力のもとでスムーズに実施することができておりましたが、澤村先生の退官に伴い、今年からは金先生(技術士/建設部門)の協力のもとで取り組みました。

金先生は今年度から函館高専に赴任されており、

赴任前は道外で公務員技術士として活躍されておりました。非常に防災・減災に必要な人材育成に熱心な方であり、私たちの活動協力に関しても二つ返事で引き受けていただきました。

3. 技術士資格の説明

技術士資格の説明はミライ研の代表であり、北電総合設計(株)に勤務する小澤技術士が講演されました。(※本号掲載のミライ研活動レポートを参照)

4. ゼネコン技術士の仕事紹介

技術士の具体的な仕事内容の紹介として、清水建設(株)に勤務する仁義技術士から、ゼネコンでの仕事内容を紹介。主にトンネルを専門とした仕事について、わかりやすいイラストやアニメーションを活用して学生にイメージが伝わりやすいように説明。さらに、ゼネコンでの女性技術者としての働き方や技術士を取得することのメリットについて説明。大企業のゼネコンで技術士として活躍する仁義技術士の姿に、特に女子学生は自身の近い将来を重ねることができたのではないのでしょうか。

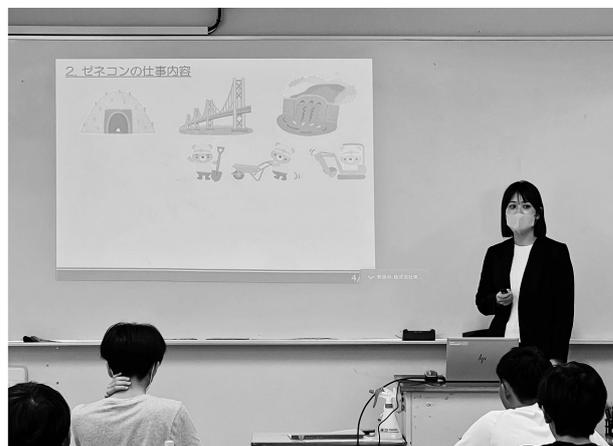


写真-1 丁寧な説明で学生の関心を引く仁義技術士

5. 公務員技術士の仕事紹介

函館高専OBで七飯町役場に勤務する原技術士から、地方公務員という立場での技術士としての働き方や仕事内容について紹介。冒頭では、趣味の釣りと野球に関するエピソードで学生の緊張をほぐし、学生たちの関心をしっかり惹き付けた上で、町が管理する橋梁の維持管理事例を紹介しました。さらに、自身の技術士を目指した経緯や職場での技術士の役割について、丁寧に説明していました。

地元で公務員技術士として活躍するOBの具体的な働き方や考え方の紹介は、学生からの興味も多く見られ、学生にとって将来に有用な情報を得られたのではないのでしょうか。



写真-2 声量・熱量共に溢れんばかりの原技術士

6. 質疑応答・感想

質疑応答では、函館高専OBの中谷技術士による手際の良い司会進行により、少ない時間の中で多くの質疑に答えることができました。以下に、仁義技術士と原技術士へ寄せられた学生からの質疑・感想を抜粋して紹介します。

①仁義技術士へ

- ・技術士を取得してメリットはありましたか？
- ・技術士・技術士補になるために必要な勉強時間はどれくらい必要ですか？
- ・トンネルを掘って出てきた土砂が最終的にどこに行くのかが気になりました。
- ・女性でも立派な技術者として活躍しているのを知れて、将来の自信につながりました。

②原技術士へ

- ・技術士を取得することでメリットが多いことがわかったので挑戦したい。
- ・技術士の資格を持っていることで信頼の違いがあることがわかった。
- ・地方自治体の技術士は色々な人の声を聞いて、さまざまな視点からその町の状況を見ることが大切だとわかった。

7. コンサル技術士の仕事紹介

函館高専OGで(株)オリエンタルコンサルタンツに勤務する櫻庭技術士からは、WEB形式で建設コンサルタンツに就職を決めるまでの経緯、入社してから技術士取得までのキャリアパスや仕事内容を紹介しました。具体的には、学生時代の進路の考え方、港湾施設設計の仕事の特徴、技術士に必要なコミュニケーション力、日常の仕事の流れについて本音溢れるトークで学生の興味を集めていました。

建設コンサルにおいて20代で技術士を取得し、業務の第一線で活躍するOGの姿は、学生たちにとって技術士がより身近なものであることを感じてもらえたと思います。



写真-3 WEB形式で講演していただいた櫻庭技術士

8. まとめ

本年も無事に本講演を行うことができ、ミライ研・青技交の皆様ならびに金先生・櫻庭技術士に感謝いたします。今後もミライの技術者たちへ「技術士」の関心を高め、魅力を伝えていく取り組みのサポートを精力的に行っていきます。